

【公用旅券用顔写真の撮影規格】

下記注意事項を確認の上、写真を提出してください。

公用旅券用の写真は、規格が厳しいため、**写真店で撮影してください。**

なお、スピード写真による撮影等、規格外の写真の場合は、撮り直しをお願いすることもありますので、十分に注意して下さい。

【本人注意事項】

- ・公用旅券は公務を遂行する目的で使用されるものです。そのため、スーツ着用のうえ、撮影してください。
(男性はネクタイ・ジャケット必須)
- 公用にふさわしくない服装、大きいピアスやイヤリングは避ける。(例:ピンクの柄シャツ、Tシャツ、ポロシャツ、トレーナー、タートルネックは不可)
- ・可能な限り、眼鏡は外して撮るようお願いします。(眼鏡のレンズに映り込み、光の反射、顔に眼鏡の影等により、写真の撮り直しが必要になることが増えています)
- ・つけまつげ、まつげエクステ、カラーコンタクトレンズ等による華美な化粧は不可。(口紅、リップグロス、リップクリーム等で唇が光らないようにする。ラメ入りの化粧品は控える。)
- ・笑顔、口角が上がるなど平常の顔と著しく異ならぬようにする。(口を開き必要以上に歯が見えているものは不可)

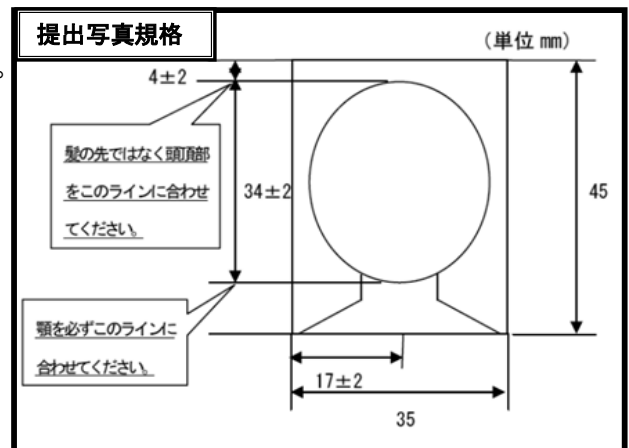
【撮影時の注意事項】

公用旅券の写真規格は厳しく、画像が粗いものは受け付けられません。以下の点についても、特にご注意頂き、撮影してください。

※参考「旅券用提出写真についてのお知らせ(外務省旅券課)」

http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/ic_photo.html

- ① 写真の背景色は、外務省HPに記載の写真サンプルと同様に、水色による無地(均一)とする。(グラデーション、色むら、影の映り込みは不可、「白色」の背景色の写真は不可です。)
- ② デジタル画像の過剰な圧縮などが原因となってノイズ(画像の乱れ)が発生しているものや、ジャギー(階段状のギザギザ模様)、走査線(印刷時の縞模様)、印刷時のドット(網状の点)やインクのにじみがあるものは不可。写真専用の用紙を使用し、鮮明かつ焦点の合っている画像を印刷する。写真専用用紙であっても絹目調は不可。
- ③ 写真サイズが規格に合わないもの、写真の角が丸いものは不可。
- ④ 顔の寸法が規格内に収まるようにする(規格より大きいもの小さいもの共に不可)。
- ⑤ 写真の表面上に傷や汚れ、ほこり等がつかないようにする。
- ⑥ フラッシュ等により、顔、特に額や鼻に著しい「てかり」が出ないようにする。
- ⑦ 人物と背景、髪と服装、肌と服装の境界が不明瞭にならないようにする。
- ⑧ 髪が肩にかかる場合は髪を結ぶ等、輪郭や首が隠れないようにする。
- ⑨ 髪の毛(1本でもNG)が目にかからないようにする。



【写真提出時の注意事項】

- ・6か月以内に撮影したもの
- ・傷や汚れがつかないようにする(クリップ留めをしない)
- ・写真裏面に**隊次、派遣国名、氏名**を記入する
※写真表面に字の跡がつかないよう筆圧にご注意ください